

令和4年度地域女性活躍推進交付金事業について

1. 女性も幸せに暮らし働ける山形県の魅力の創出・発信事業

2. ビジネスウーマン交流会開催事業

3. 地域女性活躍応援事業

(1) 最上地域: 企業における女性活躍とワーク・ライフ・バランス推進
研修会

(2) 置賜地域: 若年女性向けライフプランセミナー

(3) 庄内地域: 多様な働き方をしている女性等の情報発信

4. やまがた女性のつながりサポート事業

<参考> 令和4年度地域少子化対策重点交付金事業について

1. 男性の家庭参画推進事業

2. やまがたイクボス同盟活動関係事業

1. 女性も幸せに暮らし働ける山形県の魅力の創出・発信事業

事業概要

若年女性の県内定着・回帰に向け、「オンライン100人女子会」を開催するとともに、若年女性向けのデジタルロールモデル集・動画及び性別による固定的役割分担意識の解消を促す啓発媒体を作成。

事業実績

オンライン100人女子会 R4.9.28(水)、10.1(土) オンライン

■参加者：県内外の若年女性(学生を含む) 101名

■内容

「リフレーミング」に関するミニセミナーの後、「仕事」「家庭」「地域」の3テーマに分かれてグループトークし、全体セッションを実施。

■参加者の「山形暮らし」に関する主な意見

- ・共働きが多いのに家事や育児など女性への負担が大きい。
- ・「子供は祖父母に預けるのが当たり前」という多世代同居前提の話をされるのがつらい。

■アンケート結果

参加前よりも「山形県で暮らし働くこと」に対して希望を感じるようになったと回答した割合67%

若年女性向けデジタルロールモデル集・動画「Yamagata Role model collection」

若年女性が少し先の未来をイメージする上で参考となるような、山形でいきいきと暮らし働く18名の女性の多様なライフスタイルを紹介、一部はYouTubeでも配信。



事業KPI

(KPI) 女子会参加者アンケートによる満足度: 70%以上 ⇒ (事業実績) 93%



2. ビジネスウーマン交流会開催事業

事業概要

県内で働く女性等が交流し、悩みや課題を共有することで、モチベーションアップや意識改革につながるとともに、県内で働く中長期的なキャリア・ライフイメージを持ってもらう(オンライン開催)。

開催実績

ビジネスウーマン交流会 R5.2.7(火) オンライン開催

■対象: 県内で働く女性・働きたい女性

・第1部【パネルディスカッション】

《パネリスト》

荒井愛氏(愛和建设株式会社)

石川昭子氏(株式会社スプリングス)

鈴木優美氏(山形朝日株式会社)

《テーマ》「私らしく輝く! ~それぞれのキャリアアップ~」

・第2部【セミナー・交流会】

講師兼ファシリテーターを設置し、6つのテーマで2回実施

①アンガーマネジメント②キャリアデザイン③コミュニケーション

④リーダーシップ⑤メンタルヘルス⑥アサーション



事業目標

(目標) 参加者数: 70人 ⇒ (事業実績) 86人

アンケート結果・参加者からの声

・第1部、第2部いずれも、「大変有意義」「有意義」と回答した参加者の割合が9割を超えた。

・「失敗を恐れず挑戦しようと思えた」「他業種の人との貴重な交流の機会」などの声が多数。

3. 地域女性活躍応援事業(最上地域)

事業概要

人それぞれが地域社会の中で誇りを持って活躍することができるよう、最上地域の企業における女性活躍とワーク・ライフ・バランスを後押しするため、企業の管理者等を対象にした研修会を開催。

開催実績

企業における女性活躍とワーク・ライフ・バランス推進研修会 R4.12.1(木)

■ 対象: 最上地域の企業の管理者、人事労務担当者、行政機関担当者など

《講師》 高井 作 氏

(株式会社マイスター代表取締役会長)

《演題》 人それぞれが活躍を

～“働きがいのある人間らしい働き”を目指して～

事業目標・KPI

(目標) 参加者数: 20人 ⇒ (事業実績) 25人

アンケート結果・参加者からの声

- ・「女性の視点が社会に変化をもたらす」という考えにとっても共感した。
- ・職務を越えたアドバイザーとなるブラザーシスター制の取り組みが印象的で、フォロー側の人材育成はどの所属でも必要と感じた。
- ・社員の方を大切にされていることが良く分かった。
- ・人材育成や地域貢献が、社会への貢献にもつながっていると感じた。

地域女性活躍応援事業
人それぞれが活躍を
～“働きがいのある人間らしい働き”を目指して～

Work
ディセントワーク
個性の尊重
十分な収入
きれいで清潔な職場
良好な人間関係

Life
健康
家庭生活
個人生活
自己実現

日時 令和4年12月1日(木)
10:00～11:30

参加方法 Zoomによるオンライン開催

申込方法 下記QRコードまたはFAX

対象 最上管内企業の管理者、管内福祉施設等、行政機関担当者など

株式会社マイスター
代表取締役会長
高井 作 氏

【参加時の注意事項】
※原則にZoomをインストールし、パソコン、スマホ、タブレット等の端末をご用意ください。
※Zoomは無料ですが、データの漏洩は参加者の自己責任となりますので、ご了承ください。

【お問い合わせ先】最上総合庁舎2階 地域交流課
TEL: 0233-29-1245 FAX: 0233-23-7635

3. 地域女性活躍応援事業(置賜地域)

事業概要

ライフプランについて学び自らの人生設計を行う力を身につけることで、働く女性の意識向上や地元への定着を図るとともに、女性の就業環境の改善を促進する。(オンライン開催)

開催実績

若年女性向けライフプランセミナー R4.12.4(日)

- 対象: 山形県にゆかりのある若年女性
- 講師: 季の実 -toki no mi- 庄司 あきこ 氏
- 内容 「20代からはじめる『マネー美人』わたしのライフプランセミナー」
 - ① ロールモデル紹介
 - ② “私”のライフプランを描いてみよう(ライフプラン作成)
 - ③ ライフプランの使い方

事業目標

- (目標①) 参加者数: 20人 ⇒ (事業実績) 19人
- (目標②) 参加者アンケートによる満足度: 80%以上 ⇒ (事業実績) 100%

アンケート結果・参加者からの声

- ・働き方や生き方には様々な形があるということを学ぶことができました。
- ・自分のやりたいことを考えながらライフプランを立ててみて、将来への漠然とした不安が少し減りました。自分でも時間をとってライフプランを立ててみようと思います。
- ・お金の使い方を見直していきたいと思いました。



20代からはじめる「マネー美人」わたしのライフプランセミナー

新型コロナウイルス、物価高騰、年金問題…なにかと先行き不安な現代、自分のライフプランや、その実現に必要なお金について考え、将来への「なんとなく不安」を解消するヒントを見つけませんか? お金のプロと一緒にライフプランを作成してみましょう!

参加無料

日時 12月4日(日) 10:30~12:00

開催方法 Zoomを活用したオンライン開催

対象 若年女性(20代のほか学生・ライフプランに興味のある方大歓迎!)
* 将来についてなんとなく不安を抱えている人
* お金について勉強するきっかけを探している人

講師 庄司 あきこ 氏 ココロとカラダとお金のメイクアップ、季の実 -toki no mi-

プロフィール
自身の経験から、誰やかに生きるには心と身体とお金のバランスが整っていることが大切という信念の下、セミナーや執筆、個別相談、FP資格取得講座講師などをこなしている。結婚や出産、恋愛、介護など外的要因で体調や経済状況に影響しやすい女性が自らが誰やかに生きていけるよう活動中。

英字会の説明会山形新聞「なるほど新卒のはなし」に輪番で執筆中、A.F.の認定者心療カウンセラー兼「マネーライター」

10:30~10:50
ロールモデル紹介
多様な時代の
暮くは在りたの生き方

10:50~11:35
“私”のライフプランを描いてみよう
ライフプラン作成のキリットやポイント
をおかえて、実際に作ってみよう

11:35~11:50
ライフプランの使い方
作っただけじゃ意味が無い
事を叶える活かし方

【お申込・お問合わせ】
下記いずれかの方法でお申し込みください。
①「山形e申請」より申込 (右側QRコードから)
②裏面の申込用紙に記入し、FAXで申込
★申込期限: 11月25日(金)★

山形県農協総合支庁こども家庭支援課
TEL 0238-26-6027
FAX 0238-24-2016
E-MAIL ykg@tamakodomo@pref.yamagata.jp

主催: 山形県農協総合支庁保健福祉課 子ども家庭支援課

3. 地域女性活躍応援事業(庄内地域)

事業概要

ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる企業や、多様な働き方をしている女性について、子育て世代が多く閲覧するサイトに掲載するとともに、リーフレット等を活用して周知する。

取材先

■ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む企業

①株式会社プレステージ・インターナショナル

家庭と仕事を両立しやすい職場づくりに取り組む企業

②楯の川酒造株式会社

ICT化、リモートワーク導入等により働きやすい環境づくりに取り組む企業

■多様な働き方をしている女性

③会社員と子育てを経験後、長年の夢であるたい焼き屋を開業した女性

取材にまつわるエピソードは

【庄内子育て情報サイト TOMONI】

でも紹介中！



事業目標

(目標) 記事閲覧数: 200件/1記事 ⇒ (事業実績) 記事①382件、②478件、③343件(R5.2.21時点)

事業の効果

- ・同じ庄内の企業の身近な事例であるため「ワガコ化」になり、具体的な取り組みであるため取り入れやすくアクションにつながる。
- ・子育て支援サイトで情報を発信することにより、妊娠・出産で働き方を変えようと思っている女性に情報を届けることが出来る。

企業でのワークライフバランスの実践や
女性の自己実現できる働き方の意識醸成につながる

4. やまがた女性のつながりサポート事業

事業概要

長期化する新型コロナの影響で不安や悩みを抱える女性に、寄り添ったきめ細かい対応を進めていくため、相談体制の充実と女性同士のつながり支援の強化を図る。

開催実績

■ 県男女共同参画センターの相談機能の強化

- ・女性を対象にした専門家による「こころの相談」を第1・3・5土曜に実施 実績:12名(R5.1末時点)
- ・集中相談期間の実施(8月・10月) 実績:7名

■ 孤独・孤立や不安を抱えた女性に対する支援体制の強化

- ・県内各地のNPO等と連携し、コース毎に女性に対する支援を提供 計30団体
- コースⅠ(4団体):交流スペース、ピアサポート、生理用品の無償提供
- コースⅡ(12団体):ピアサポート、生理用品の無償提供
- コースⅢ(14団体):生理用品の無償提供



事業目標

(目標) 支援提供団体数:28団体 ⇒ (事業実績)30団体



アンケート結果・参加者からの声

- ・アンケートでは、約20%が過去1年以内に生理用品が必要であるにも関わらず、生理用品を購入できなかったり、ためらったことがあると回答(R4.11.15時点)
- ・また、「モノづくりを通し、会話をすることで心が穏やかになった」、「少人数でじっくり会話ができて良かった」などの声があった。

<参考> 1. 男性の家庭参画推進事業

事業概要

改正育児・介護休業法の施行等、男性の育休取得を促す動きが加速する中、当事者である男性職員の意識啓発と職場の理解向上のため、企業の管理職、人事労務担当者向けのオンラインセミナーを2回、当事者向けのセミナーを1回開催。

セミナー開催実績

職場のための男性育休キックオフセミナー R4.10.6(木)、R4.10.24(月)

■対象:管理職、人事労務担当者

■内容:第1回 講演

第2回 県内企業による事例発表とパネルディスカッション

将来のパパのための男性育休準備セミナー R4.12.17(土)

■対象:これから育休を取得する夫婦・カップル

■内容:講演、ワークショップ

事業目標

(目標)参加者数:延べ320人 ⇒ (事業実績)延べ302人

アンケート結果・参加者からの声

・受講者アンケートでは、88%が有意義と回答

[参加者の声]・企業が存続していくために、若い優秀な方を採用し続けるための手段としても、男性育休や働き方改革全般は必要であると思いました。

・育休を取りたいという社員が心置きなくしっかり育休を取れるように、課題はたくさんありますが、取り組んでいきたいと思えます。

<参考> 2. やまがたイクボス同盟活動関係事業

事業概要

トップセミナーの開催などで経営者層にイクボスを普及・浸透することで、①長時間労働の是正、②働き方の多様化、③男女共同参画などを推進することにより、女性も男性も働きやすい職場を増やしていく。

開催実績

やまがたトップセミナー R4.11.14(月)開催

■対象:経営者、管理職、組織のリーダー等

《講師》 沢渡 あまね 氏(作家、ワークスタイル&組織開発専門家)

《演題》「多様な人材が活躍し成長できる～地域の未来地図～」

やまがたイクボス同盟 SUSTAINABLE GOALS DEVELOPMENT

令和4年度 地域に求められる企業になるために
やまがたトップセミナー
11/14(月) オンライン開催
14:00～15:30 Zoomウェビナーによるライブ配信

対象:経営者、管理職、組織のリーダー等
申込:「希望は1人1人お申し込みください」
参加料:無料

講師:作家、ワークスタイル&組織開発専門家 沢渡 あまね 氏
演題:多様な人材が活躍し成長できる～地域の未来地図～

申込方法:申し込み締め切り11月10日(木)
お問い合わせ:02-858-0350

主催:山形県・やまがたイクボス同盟

事業目標・KPI

(目標) 参加者数:100人⇒(事業実績) 104人

(KPI) 参加者アンケートによる満足度:70%以上⇒(実績) 100%が「満足」「やや満足」と回答

アンケート結果・参加者からの声

- 「景色を変えれば組織(地域)は変わる」という言葉が特に印象的だった。
- トップダウンだけではなく各部門長に権限を与えて、やる気と責任をもって業務にあたってもらい、社員の成長や人材の育成に努めていきたい。